

フューエルポンプモジュール脱着作業要領

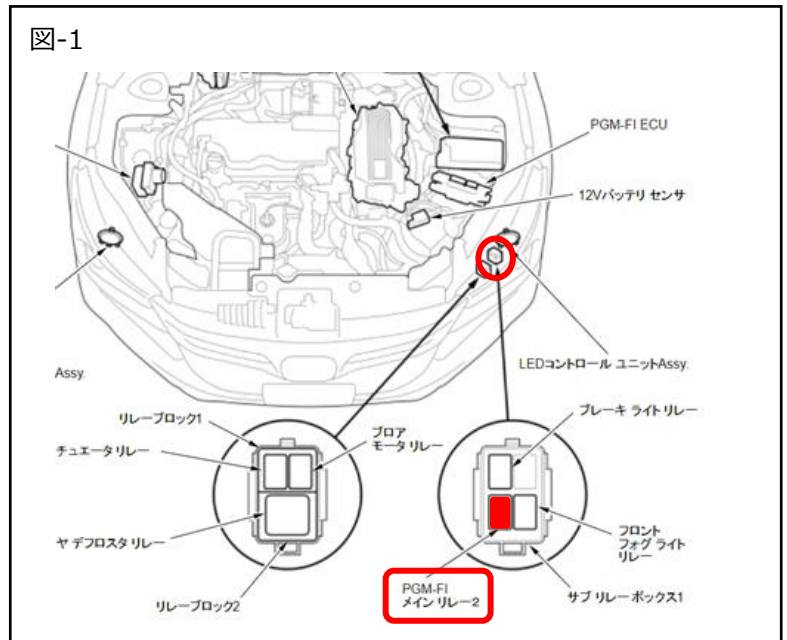
機種名	型式
ACCORD	CR7

■ 使用する部品番号

型式・タイプ	部品番号
CR7 全車共通	06170-T3W-305

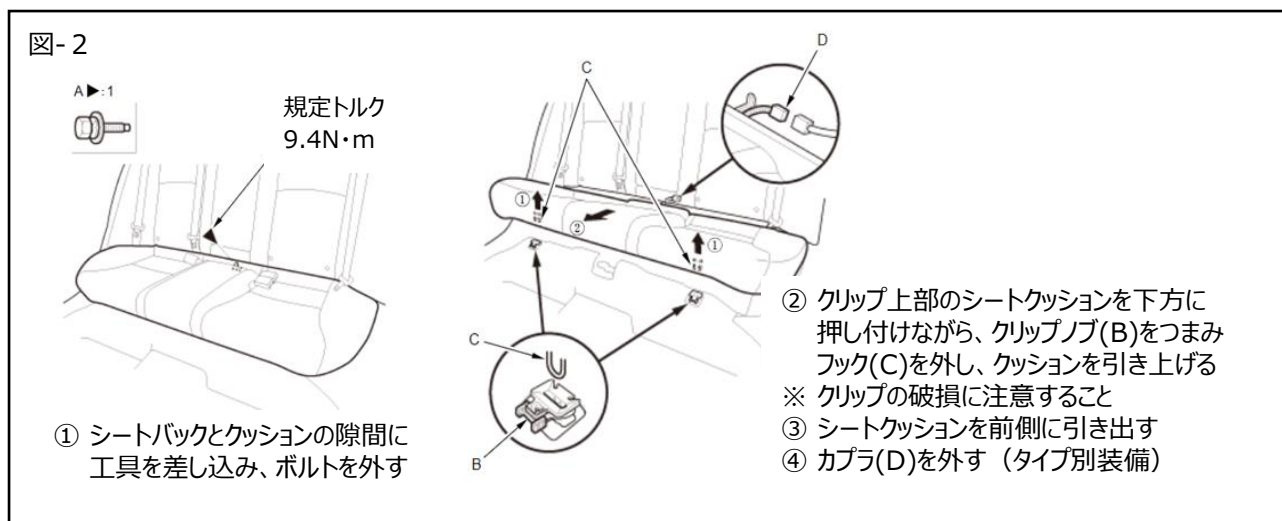
- 最初にフューエルメータの燃料残量を控えておく。
- POWERスイッチはOFFモードで、フューエルフィルターキャップを開ける。
- PGM-FIメインリレー2を取り外す。

図-1参照



- メンテナンスモードでエンジンを始動し、残存燃圧を抜く。
 - ブレーキペダルを踏まない状態で、POWERスイッチを一度押し、ONモードにする。
 - Pレンジでアクセルペダルを全開位置まで2回踏み込んでから、ペダルから足を離す。
 - ブレーキペダルを踏み、Nレンジにする。
 - アクセルペダルを全開位置まで2回踏み込んでから、ペダルから足を離す。
 - ブレーキペダルを踏み、Pレンジにする。
 - アクセルペダルを全開位置まで2回踏み込んでから、ペダルから足を離す。
 - ブレーキペダルを踏み、POWERスイッチを押すと、メンテナンスモードでエンジンが始動する。
 - ガス欠でエンストするまでアイドリングで放置し、エンストしたらPOWERスイッチをOFFモードにする。
- 手順3.で取り外したリレーを元の位置に取り付け、バッテリーのマイナス端子を外す。

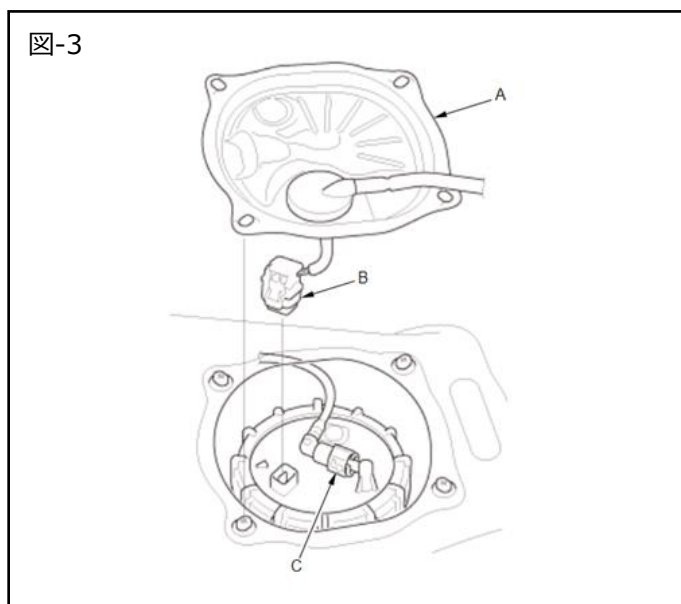
6. Rrシートクッションを外す。 図-2参照



7. メンテナンスリッド(A)を外し、フューエルポンプ
モジュールからカブラ(B)を外す。

図-3参照

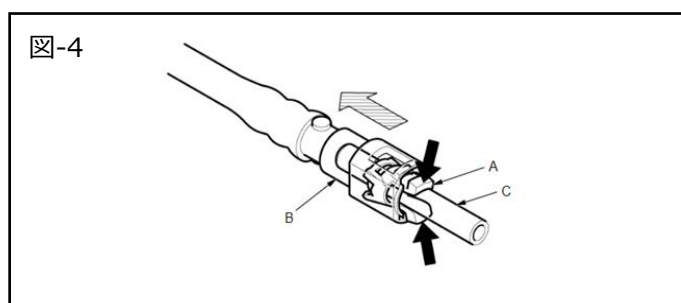
8. フューエルポンプモジュール上面および周辺部の
ホコリをウエスなどで除去する。



9. フューエルチューブのクイックコネクタ周辺に
ウエスを巻き、クイックコネクタリテーナ(A)を
指でつまみながらチューブを外す。

図-4参照

※ クイックコネクタのリテーナは分解時交換

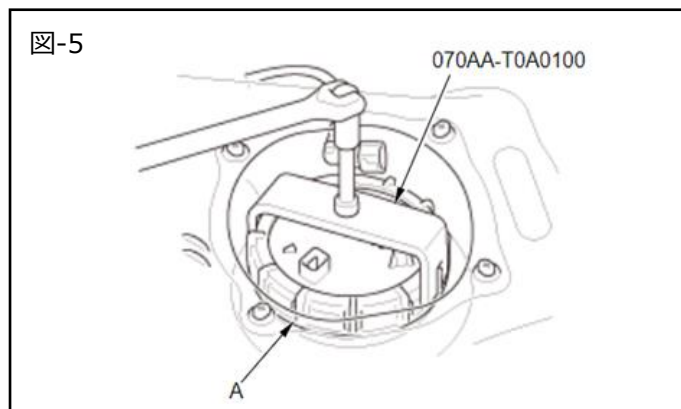


10. 指定のロックナットレンチを使用し、ロックナット
(A)を外す。

図-5参照

※ ロックナットレンチ部番
070AA-T0A0100

※ ロックナットは分解時交換

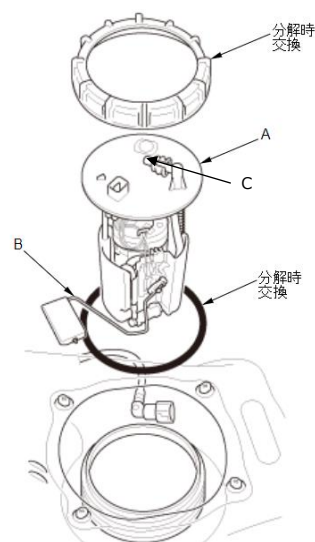


11. フューエルポンプモジュールをフューエルタンクから引き出し、取り外す。

図-6参照

- ※ フューエルポンプモジュールを引き出した向きを覚えておくこと
- ※ センダユニットのフロートアーム(B)を変形させないこと
- ※ 車室内にガソリンを垂らさないよう、オイルパンなどに受けて、車外に移動すること
- ※ 古いパッキンを外し、ニッパなどで切る(再使用防止)
- ※ フューエルポンプモジュールから古いリテーナ(C)を外し、新品のリテーナを組付ける。

図-6



12. フューエルポンプモジュールを分解し、ポンプモータを交換する。

- ※ 参照するポンプ交換作業要領 ➡ **A**

- ※ 「再利用不可部品 廃棄確認シート」に交換した全ての部品を乗せ、写真を撮影すること。
図-7参照

- ※ フューエルポンプモジュールが組みあがった時点で整備主任者に中間検査を依頼し、誤組がないことを確認してもらうこと。

図-7



廃棄確認シート①②とも撮影すること

13. フューエルタンクのネジ上部に新品のパッキンを組付け、フューエルポンプモジュールをタンク内に挿入する。

- ※ パッキンの位置は図-9参照

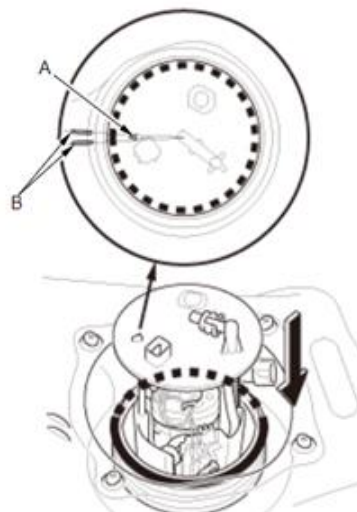
- ※ センダユニットのフロートアームを変形させないように注意すること。

14. フューエルポンプモジュール上面の合わせマーク(A)をタンク側の合わせマーク(B)に合わせ、パッキンが密着するまで垂直に押しつける。

図-8参照

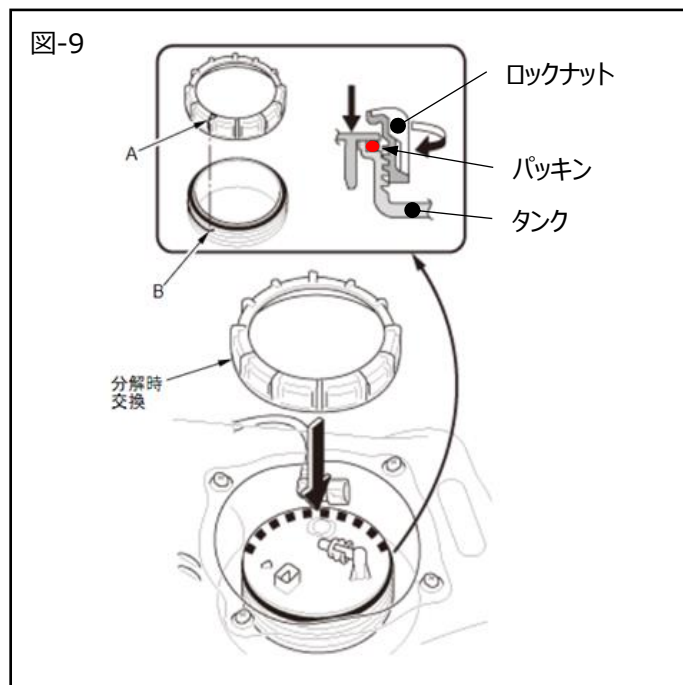
- ※ パッキンがずれていないことを十分に確認すること。

図-8



15. 新品のロックナットのマーク(A)とタンク側のネジの始まり(B)を合わせて、ロックナットを手でねじ込む。
図-9参照

- ※ フューエルポンプモジュールを押しつけながら、パッキンがずれないように作業すること。
- ※ タンクの膨潤によりロックナットが嵌りにくい場合がありますが、斜めにねじ込まないように十分に注意すること。



16. 指定のロックナットレンチを使用し、ロックナットを既定トルクで締めつける。

- ※ ロックナット規定トルク
100N・m
- ※ ロックナット締付後、手順14.の合わせマークが合っていることを確認すること。

17. クイックコネクタ(A)とカブラ(B)を接続する。
図-10参照

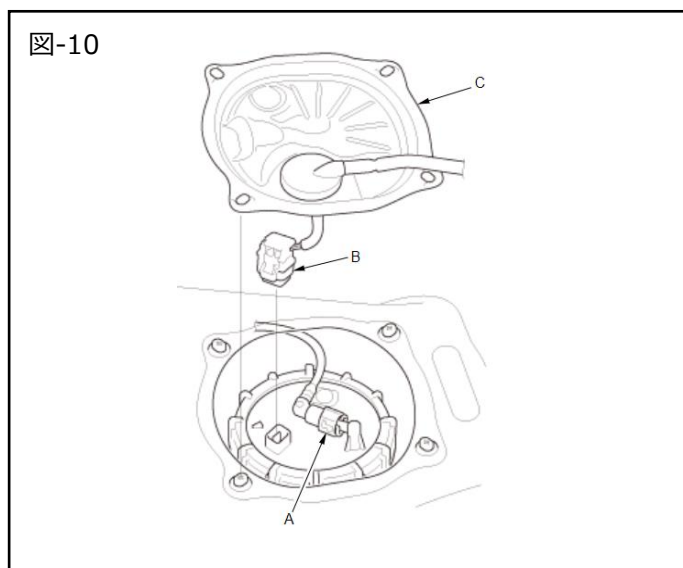
- ※ 接続はカチッと音がするまで確実に押し込み
その後、軽い力で引っ張り、抜けないことを
確認すること。

18. バッテリーのマイナス端子を接続する。

19. ブレーキペダルを踏まない状態でPOWERスイッチを1回押し、約2秒間ONモードにしてから、OFFモードにする。

20. 手順19.の操作を3回以上繰り返し、クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。

21. 整備主任者に中間検査を依頼する。



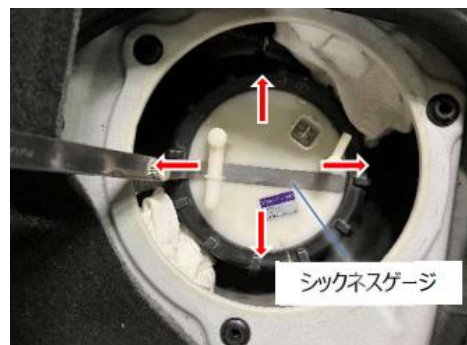
22. 整備主任者は下記項目を確認すること。

- ① クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。
- ② フューエルポンプモジュールとロックナットの間隙にシクネスゲージを差し込み0.04mmが入らないことを確認する。

図-11参照

- ※ 0.04mm以上の隙間が1か所でもある場合はロックナットが斜めに入っているため、タンク交換が必要となります。

図-11



シクネスゲージは4方向に差し込んで確認すること

- ③ クイックコネクタ、カブラ、バッテリー端子の接続を確認する。
- ④ エンジンを始動し、フューエルメータが作業前の指示値を表示していることを確認する。

23. 手順22.の中間検査が完了後、メンテナンスリッドを組付け、Rrシートクッションを取り付ける。

24. フューエルフィルターキャップを締め、リッドを閉じる。

25. 整備主任者に完成検査を依頼し、作業者の作業は完了です。

26. 整備主任者は下記項目を確認し、完成検査を行う。

- ① 分解した部品が確実に取付られていること。
- ② 分解した部品の機能が正常に作動すること。
- ③ 車両をリフトアップし、フューエルタンクにガソリン漏れの痕跡が無いこと。
- ④ DTCスキャンツールを接続し、DTCストアの有無を確認し、ストアされている場合は消去する。

27. インフォメーションラベルの写真を撮影する。

図-12参照

図-12



インフォメーションラベル

本田技研工業株式会社
型式 XXX-XXX
車台番号 XXX-1000000
TYPE XXXX
XXX XXX-XXXX -X -X

28. ホンダ販売店への請求書と作業完了報告書を作成し、印刷してください。

29. 作業依頼元のホンダ販売店へ完成連絡を行う。

- ※ 手順27.で作成した請求書と作業完了報告書をホンダ販売店へ必ず渡してください。